



日本ビジネスモデル大賞

ビジネスモデル学会

ビジネスモデル学会の紹介

「ビジネスモデル学会概要」(学会ホームページ <http://www.biz-model.org/>)

(1)設立の経緯

取り巻く環境が大きく変化する中で、日本企業にとり急務とされる21世紀型企业への進化に関し、近未来環境を展望しつつ大胆かつ現実的な21世紀型日本企業のビジネスモデルを研究する団体として、産業界、官界、学界、メディア等の幅広い層からの賛同を得て、2000年10月1日に設立、発足。(発起人:産官学等の約50名)

(2)会長・副会長

会長 東京大学名誉教授 俯瞰工学研究所代表 松島克守博士
副会長 早稲田大学教授 マッキンゼーアドバイザー 平野正雄博士
副会長 東京工業大学教授 元経産省 田辺孝二博士

(3)会員構成

さまざまな形でビジネスモデルに関わる第一線の研究者、企業経営者、コンサルタント、ビジネスマン、大学院生等により構成され、現在の登録正会員数は約300名。

(4)活動状況

春と秋の大会やイブニングセッション(隔月)、海外コンベンションの開催および研究会活動等の場において、産学官各界のゲストスピーカーを招いて、ビジネスモデルを取り巻くマクロ的な環境の変化、ケーススタディによる実証研究、関連概念の提起、ビジネスモデルの応用やビジネスモデル特許に関する議論等を通じて、会員相互の研鑽、知見を深め、日本における有用なビジネスモデルの研究、構築、定着、普及に資している。

ビジネスモデル大賞について

趣旨

日本発の優れたビジネスモデルを考案し、事業として顕著な成果を収めている企業を表彰することで、そのビジネスモデルの考案者や企業経営者を称えると共に、ビジネスモデルの重要性を広く啓蒙する

選定の基準

1. **独創性**: 創造的なビジネスモデルを考案し、それを事業として具現化している。
2. **成長性**: そのビジネスモデルに訴求力があり、顧客の支持を得て事業としての競争力があり、成長力を有している。
3. **共感性**: 事業そのものに社会性があり、人々の共感を呼ぶものである。

選定対象・プロセス

- 原則的に日本国を企業活動の中心拠点としている企業を対象とする
- BM学会員の推薦により候補企業を選抜し、BM大賞アドバイザー*による助言を得て、専門委員会**によって選考される
- BM大賞受賞企業は、BM学会大会において発表し、その業績を表彰する

*BM大賞アドバイザー：川田尚吾（DeNA創業者）、猪子寿之（チームラボ創業者）、伊佐山元（WiL共同創業者CEO）、楠木建（一橋大学教授）、安達俊久（日本VC協会会長）

**BM大賞委員会メンバー：平野（座長）、中谷、林田、出口、張、淡輪、小川

ペプチドリーム社の卓越性

独創性

- プラットフォーム性の高い基盤技術を提供するビジネスモデルにより、複数の企業との 同時契約が可能である
- 各顧客との契約締結時において、契約一時金から 売上ロイヤリティまでの各ステージおける将来収入(数式)が原則的に確定される
- 特に、初期のディスカバリー段階から売り上げが立つことから、バイオベンチャーであっても早期にキャッシュフローを生み出すことができる

成長性

- 創業以降、国内外の製薬企業との契約締結にいたり、第6期では前年度比売上げ6.6 倍、黒字化達成された
- 上場後も、経営力と技術力により市場からの成長期待も高い

共感性

- ペプチドリームは、独自の創薬プラットフォームシステムPDPS (Peptide Discovery Platform System)を活用し、特殊ペプチドによる創薬を完成させることにより、アンメット・メディカル・ニーズに応え、世界中にいる 疾病で苦しむ方々への貢献が期待される

第2回 日本ビジネスモデル大賞授与式(予定)

3月15日(土曜日) 東京大学本郷キャンパスにて
開催される日本ビジネスモデル学会春季大会に
て - 別紙

第一回ビジネスモデル大賞授賞式 2013年3月



月刊企業家倶楽部 2013年6月号